

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-000108

(43)Date of publication of application : 07.01.2000

(51)Int.Cl.

A44C 19/00
A44C 9/00
A44C 25/00
// G06T 7/00

(21)Application number : 10-185700

(71)Applicant : OKI HIROKO

(22)Date of filing : 16.06.1998

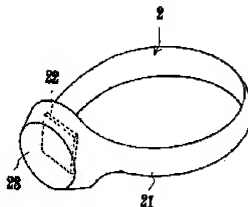
(72)Inventor : OKI HIROKO

(54) ORNAMENT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an ornament which combinedly includes a function same as that of the conventional cards have in which authentication data proper to a possessor is incorporated and an identifying function to identify a user as possessor in addition to the original functions of the ornament.

SOLUTION: A memory element 22 in which is stored a personal data comprising biological features or handwriting proper to a possessor or the combination thereof is incorporated into the body 21 of the ornament and a memory element 22 in which is stored a personal data comprising biological features or handwriting proper to the possessor or the combination thereof and authentication data proper to the possessor is incorporated into the body 21 of the ornament.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	サーチコード [*] (参考)
A 4 4 C	19/00	A 4 4 C	19/00
	9/00		9/00
	25/00		25/00
// G 0 6 T	7/00	G 0 6 F	15/62
			4 6 5 A
			A
			3 B 1 1 4
			5 B 0 4 3

審査請求 未請求 請求項の数 4 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平10-185700

(22) 出願日 平成10年6月16日(1998.6.16)

(71) 出願人 594051998

沖 博子

名古屋市天白区平針 2 丁目1013番地

(72) 発明者 沖 博子

名古屋市天白区平針 2 丁目1013番地

Fターム(参考) 3B114 CC01 CC04 FC00 JA00 JB00

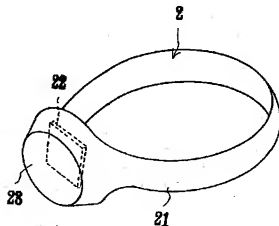
5B043 AA09 BA01 BA02 BA06 FA01

(54) 【発明の名称】 身飾品

(57) 【要約】

【課題】 身飾品本来の機能を有することは勿論のこと、本人固有の授権データが組み込まれた従来のカード類と同様の機能をも有して所有者と使用者とが同一であるか否かの正否判別機能をも併せ具備した身飾品を提供すること。

【解決手段】 身飾品本体に、本人固有の生物学的特長または筆跡或いはこれらの組み合わせよりなる個体データを記憶した記憶素子を組み込んだもの、および、身飾品本体に、本人固有の生物学的特長または筆跡或いはこれらの組み合わせよりなる個体データと、本人固有の授権データとを記憶した記憶素子を組み込んだもの。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 身飾品本体に、本人固有の生物学的特長または筆跡或いはこれらの組み合わせよりなる個体データを記憶した記憶素子を組み込んであることを特徴とする身飾品。

【請求項 2】 身飾品本体に、本人固有の生物学的特長または筆跡或いはこれらの組み合わせよりなる個体データと、本人固有の授権データとを記憶した記憶素子を組み込んであることを特徴とする身飾品。

【請求項 3】 本人固有の生物学的特長が、声紋と、指紋と、掌紋と、掌形と、眼底血管パターンと、虹彩と、顔貌の何れか 1 つまたはそれらの組合せである請求項 1 または 2 に記載の身飾品。

【請求項 4】 筆跡が署名である請求項 1 または 2 に記載の身飾品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、腕時計、指輪、ペンダントなどの身飾品本来の機能は論議のこと、所有者と使用者とが同一であるか否かの正否判別機能を併せ具備している身飾品に関するものである。

【0002】

【従来の技術】指輪、腕時計、ペンダントなどの身飾品は、常時身体に付けているため比較的紛失することは少ないが、身飾品本来の機能の中には腕時計では時計機能、ペンダントでは写真収納機能が付加されている程度に過ぎないのである。ところで、最近では、コンピュータの普及に伴い、銀行における現金の出入れや物品購入時における支払は勿論、金庫扉の部屋の入口のロック機構の開閉にも暗証番号などのパスワードその他の申告データを記憶した IC チップや磁気テープなどの記憶素子を組み込んだカード類が広く採用されるようになっていて、この種のカード類はポケットやハンドバッグなどに収納保管して携行されているため紛失し易く、また、一旦紛失してこれが他人の手にわたると悪用される虞の多いものである。このようなカード紛失時の事故対策として、使用者がカード所有者本人であるか否かを確かめるためのパスワードを採用しているが、パスワードを忘れてしまったら記憶したと使用できなくなるといった不便があるばかりでなく、パスワードが盗まれたり脅迫により不当な使用者に知られると、カード所有者本人でなくとも使用できるという問題がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明が解決しようとするところは、前記のような問題を解決し、身飾品本来の機能を有することは勿論のこと、本人固有の授権データが組み込まれた従来のカード類と同様の機能をも有したもので、常時身体に付けて使用されるため紛失や置き忘れが少ないという身飾品の特性で従来のカード類の問題点である紛失や置き忘れを少なくするとともに、

所有者と使用者とが同一であるか否かの正否判別機能をも併せ具備したものであるとして、これによりパスワードを用いなくとも本人固有の授権データについての不正使用をなくすることができるようにした身飾品を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】前記のような課題を解決した本発明に係る身飾品は、身飾品本体に、本人固有の生物学的特長または筆跡或いはこれらの組み合わせよりなる個体データを記憶した記憶素子を組み込んであることを特徴とするものを基本構成とし、これを請求項 1 に係る発明とする。また、身飾品本体に、本人固有の生物学的特長または筆跡或いはこれらの組み合わせよりなる個体データのみではなく、本人固有の授権データも記憶した記憶素子を組み込んだものとしてもよく、これを請求項 2 に係る発明とする。そして、前記したような身飾品において、本人固有の生物学的特長として、声紋と、指紋と、掌紋と、掌形と、眼底血管パターンと、虹彩と、顔貌の何れか 1 つまたはそれらの組合せとしたものを請求項 3 に係る発明とし、同じく筆跡として署名を利用するようにしたものを請求項 4 に係る発明とする。

【0005】

【発明の実施の形態】次に、本発明の好ましい実施の形態として、図 1 に示す指輪を参考にして詳細に説明する。図 1 において、2 は本発明に係る身飾品であって、図示例では指輪としているが、腕時計やペンダント、ブローチなど身体に付けて使用されるいずれの身飾品であってもよい。この身飾品 2 は従来の目的である身飾機能を有する装飾が施された身飾品本体 2 1 に IC チップや磁気テープなどの記憶素子 2 2 を内蔵させたものである。前記した記憶素子 2 2 は、本人固有の生物学的特長または筆跡或いはこれらの組み合わせよりなる個体データを、必要に応じて本人の使用限度額や出入権のようなプリペイドカードや会員証など従来のカード類に組み込むのを普通とする本人固有の権利に基づく授権データや発行番号などの必要事項と共に記憶させたものである。なお、この実施例では、本人固有の生物学的特長または筆跡或いはこれらの組み合わせよりなる個体データとして、所有者本人の右手人差指の指紋を採用し、この身飾品 2 は発行元より所有者本人に交付されるものとする。また、2 3 は身飾品本体 2 1 の所要部表面に形成してあるリッド当て面である。

【0006】このように構成されたものは、身飾品 2 としての指輪を従来の指輪と同様に所有者本人が常時指に嵌めておけば、外観は従来のものと殆ど変わることがないから、指輪本来の身飾機能を発揮することとなる。本発明に係る身飾品 2 の身飾品本体 2 1 には、本人固有の生物学的特長または筆跡或いはこれらの組み合わせよりなる個体データを記憶させた記憶素子 2 2 が組み込まれているから、後記するような発行元が設置してあるキ

ヤッシュディスペンサなどの本人認証装置のリーダの受け面に身飾品本体 21 のリーダ当て面 23 を当接し、本人認証装置に記録内容を読み込ませると同時に、本人固有の生物学的特長または筆跡またはこれらの組み合わせよりなる個体データとして採用した指紋の採取源に相当する右手人差指を前記リーダのスクャナー部分に当接することにより、本人認証装置が指輪に組み込まれた記憶素子 22 から読み取った指紋と、スクャナー部分に当接された右手人差指から直接読み取った指紋とが同一であるかを判定し、使用者が正当な所有者であることを確認できるとき、初めて所期の目的を達成すべく有効に作用し、現金支払やキロック解除など所有者の権利行使が許されることとなる。

【0007】次に、この身飾品の使用方法の概略を図 2 に示した本人認証装置のブロック図を用いて説明する。

1 は前記した身飾品 2 を用いた本人認証装置で、この本人認証装置 1 は、前記した身飾品 2 と、その身飾品本体 21 に組み込まれた記憶素子 22 に記憶してある前記した本人固有の個体データを読み込むリーダ 3 と、前記した記憶素子 22 に記憶されている個体データと同じ部位の生物学的特長または筆跡またはこれらを直接使用者から採取する検出装置 4 と、身飾品 2 の記憶素子 22 に記憶してある前記個体データを、検出装置 4 であるスクャナーにより直接使用者から採取された個体データと比較して両者が同一であるかを判断する識別装置 5 とからなり、また、前記リーダ 3 には身飾品本体 21 のリーダ当て面 23 を当接する受け面に接続されている。そして、前記したリーダ 3 と検出装置 4 と、識別装置 5 とは相互に連繋されている。なお、身飾品 2 の記憶素子 22 に記憶させてある個体データとしてこの実施の形態において、本人の右手人差指の指紋を採取し、その指紋パターンをデジタル化して記憶したものとしている。前記したリーダ 3 は、身飾品 2 の記憶素子 22 に記憶された個体データとしてのデジタル化された指紋データを読み込んで、このリーダ 3 により読み込まれた指紋データを後記する識別装置 5 のメモリに転送する機能を有しており、また、前記した検出装置 4 は、身飾品 2 の記憶素子 22 に記憶された生物学的特長としての個体データと同じ部位すなわち使用者の同じ手の指の指紋を直接スクャナーで読み取ってデジタル化し、その指紋データを後記する識別装置 5 のメモリに転送する機能を有してい

る。さらに、前記した識別装置 5 は、検出装置 4 から得られた使用者の指紋データと、身飾品 2 の記憶素子 22 に記憶された指紋データとを比較して、両者が同一の指紋であるかを判断する機能を有するもので、この識別装置 5 は CD-ROM あるいは F からインストールされたプログラムを実行するコンピュータよりなるものである。また、識別装置 5 はコンピュータにプログラムをインストールしたものとして汎用性を高くしているが、ハードウェアに直接プログラムを組み込んだ専用

機としても良い。

【0008】そして、発行者が利用者にコンピュータ読み取り可能な記憶素子 22 が身飾品本体 21 に組み込まれている身飾品 2 を発行する際、利用者の本人固有の生物学的特長または筆跡またはこれらの組み合わせよりなるものとして、この実施の形態においては指紋を採取し、その指紋パターンをデジタル化して磁気記録部あるいは IC メモリなどの記憶素子 22 に記憶する。なお、このような身飾品 2 を用いて現金引出しや商品代金の支払や各種サービスを受ける利用者は、身飾品 2 のリーダ当て面 23 を本人認証装置 1 のリーダ 3 の受け面に当接する。このようにして身飾品 2 のリーダ当て面 23 がリーダ 3 の受け面に当接されると、コンピュータとしての識別装置 5 に CD-ROM あるいは F からインストールされたプログラムに従って身飾品 2 の記憶素子 22 に記憶された本人固有の個体データの読み込み処理を行うとともに、読み込まれたカード所有者の個体データを識別装置 5 のメモリに転送し、メモリへの書き込み処理を行う。次に、プログラムに基づいてモニターに表示された指示に基づいて使用者は検出装置 4 のスクャナー面に同じ手の指を押し付けられ、スクャナーはプログラムに基づいて CCD を走査させて指紋の読み取り処理を行う。そして、この読み取られた指紋画像は、識別装置 5 のメモリに転送されてメモリへの書き込み処理が行われる。このようにして識別装置 5 の別のメモリに書き込まれた身飾品 2 から送られた個体データと、検出装置 4 により採取された指紋データはこの識別装置 5 において比較されて身飾品 2 の所有者と検出装置 4 により指紋の採取を受けた使用者とが同一か否かの判断処理が行わ

れる。この判断において所有者と検出装置 4 により検査を受けた使用者とが同一であることが識別装置 5 より判定され、識別装置 5 のモニターにより表示されたら、初めて所期の目的を達成すべく有効に作用し、現金支払やキロック解除など所有者の権利行使が許される。

【0009】なお、前記好ましい実施の形態では、生物学的特長を有する個体データとして指紋を用いているが、声紋、掌紋、掌形、眼底血管パターン、虹彩、顔貌の何れか 1 つまたはそれらの組合せでもよく、これは使用状況すなわち、安全管理のレベルや使用者の年齢等に

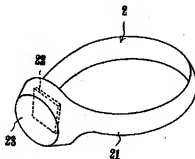
応じて適宜設定できるものとしている。

【0010】

【発明の効果】本発明は前記説明によつて明らかなように、身飾品本体に、本人固有の生物学的特長または筆跡あるいはこれらの組み合わせよりなる個体データを記憶した記憶素子を組み込んだことから、身飾品本来の機能を有することは勿論のこと、キャッシュカードやプリペイドカードあるいは会員証などに使用されている従来のカード類と同様の機能をも有しており、しかも、常時身に付けて使用される身飾品であるため、従来のカード類の問題点である紛失や置き忘れを少なくすることが可能と

なるうえに、所有者と使用者とが同一であるか否かの正否判別機能を実行に行なうことができ、ポケットやハンドバッグなどに収納保管して携行されているため紛失し易く、また、一旦紛失してこれが他人の手にわたっても悪用される虞の多いものである。さらに、パスワードを採用している従来のカード類のように、パスワードを忘れたり間違って記憶したりすると使用できなくなるという不便もないうえ、パスワードが盗まれたり脅迫により不当な使用者に知られても、カード所有者本人でなければ絶対に使用できないので、安全性も極めて高くなるなど種々の利点がある。従って、本発明は従来の問題点を解消した身飾品として業界の発展に寄与するところ極めて*

【図 1】



* て大なるものである。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の好ましい実施の形態としての指輪の斜視図である。

【図 2】 本発明の身飾品を用いた本人認証装置のブロック図である。

【符号の説明】

- 2 身飾品
- 21 身飾品本体
- 22 記憶素子
- 23 リード当て面

【図 2】

